

6 昭和63年災害

この災害における降水量は、県史上未曾有の被害をもたらした昭和58年災害時の降水量に匹敵するものであった。しかし、死者・行方不明者に関しては、58年災害では107名にのぼったのに

対して、本災害では6名にとどまった。58年災害の教訓を生かし、市町村や地域住民が早い段階で自主的・積極的に警戒・避難活動を行ったことが人的被害の減少につながったのである。

(1) 気象状況

■7月11日

太平洋高気圧は幾分弱まり、日本海中部を東西に横たわり停滞していた梅雨前線は、山陰沿岸付近まで南下した。島根県地方は大気の状態が不安定となり、所々で時々雷を伴う雨になった。

■7月12日

オホーツク海方面の高気圧が強まり上空に寒気が入り、さらに前線が南下し、山陰東部を横切り近畿地方から南西に伸びて停滞した。前線上やその付近に、まとまった厚い雨雲が点在し、東進・南下して前線活動が再び断続的に活発となった。

■7月13日

夜半過ぎから松江地方を中心に大雨となった。2時30分に、県東・西部に大雨・洪水・雷注意報、6時40分には県東部に大雨・洪水警報、雷注意報が発表された。

この大雨は10時頃まで続き、その雨量は松江市で136mm、伯太町で90mmに達した。その後小康状態に入ったが、前線は県東部地方に停滞したままで、厚い雨雲はまだ海上にあり、依然として大雨を降らせる不安定な大気の状態が続いた。19時頃から再び県東部地方に厚い雨雲が入り、前線が活発となった。19時から24時までの雨量は松江市で84mm、伯太町で23mmとなり、総雨量は松江市で220mm、伯太町で114mmに達した。

■7月14日

0時以降は、東部地方においては一応大雨の可能性はなくなったが、別の厚い雨雲が隠岐地方にかかり、4時頃から大雨となり、強い雨の時間帯は14時頃まで続いた。海士町の時間雨量は6時から7時に59mm、11時から12時に56mmを記録し、4時から12時までの総雨量は196mmに達した。西郷町では4時から14時までの総雨量は192mmであった。

これまでの梅雨前線の位置は、県東部から岡山県にかかり、県西部での雨量は極めて少なかった。

その後、松江気象レーダーの観測により、中国

大陸東部と朝鮮半島南部海上に強い雨域があり、前線も南下傾向にあることが判明し、県西部でも大雨の可能性が強くなった。このため、8時30分に県東・西部に大雨・洪水警報、雷注意報が発表された。夜半には、前線は中国地方を縦断の形でやや南下して停滞した。海上からの厚い雨雲が西部地方にかかり始め、南西からの暖かく湿った気流も入ってきた。

■7月15日

未明から浜田地方を中心に記録的な集中豪雨となった。浜田市でのこれまでの雨量は16mmと極めて少なかったが、1時から10時までの9時間で380mm、特に、1時から7時までの雨量は340.5mmに達し、短時間に集中する記録的な豪雨となった。桜江町でも未明から雨足が強まり、0時から7時までに183mmを記録した。

その後、集中的な強い雨はなくなり、雨量は多いところで時間雨量10mm前後となり、大雨の恐れはなくなった。

■7月16日

不安定な状態ながら、所々で弱い雨が降る程度であった。

■7月20日

早朝、低気圧が日本海南部をゆっくり進み、この低気圧から朝鮮半島東部にかけて延びる前線がオホーツク海高気圧の強まりに伴いゆっくり南下した。午後から前線沿いに暖かく湿った気流が流れ込み、次第に前線活動が活発になり、点在する雨雲が県西部にかかってきた。22時には、島根県の西海上から東にのびる強い雨雲が県西部を中心に停滞し、特にまとまった強いものは三隅、弥栄、波佐を結ぶ東西の線上に停滞した。夜半前から21日未明にかけて、三隅町を中心に集中豪雨となった。三隅町の雨量は、降り始めの20日13時過ぎから21時までは29mmであったが、21時から翌21日1時までの4時間に308mmに達した。時間雨量は、22時から23時に100mmを記録する集中豪雨となった。

■7月21日

2時過ぎから強い雨雲は南下を始め、県西部の強雨域も急速に減少し、梅雨前線も9時には瀬戸内付近まで南下した。

雨量観測表

(日界：24時)

単位：mm

観測地	7月13日	7月14日	7月15日	7月20日	7月21日	合計
西郷	11	204	1	6	2	224
海士	9	241	4	10	8	272
鹿島	95	16	8	10	5	134
松江	220	18	9	4	3	254
出雲	74	12	26	3	—	115
大東	95	14	24	2	3	138
伯太	114	33	9	8	3	167
佐田	49	14	52	14	1	130
大田	65	18	121	48	—	252
掛合	74	11	33	17	1	136
横田	60	31	44	13	1	149
福光	27	12	177	17	—	233
赤名	71	20	76	65	2	234
吾妻山	70	40	69	21	—	200
桜江	4	20	276	11	2	313
川本	18	17	138	62	—	235
浜田	3	13	395	35	39	485
原山	2	10	164	21	18	215
瑞穂	3	21	136	22	10	192
三隅	4	34	96	301	43	478
弥栄	12	27	185	163	62	449
波佐	9	33	237	93	64	436
益田	—	8	40	89	88	225
匹見	6	12	20	34	88	160
十種峰	—	10	19	9	4	42
津和野	—	6	14	14	2	36
六日市	—	7	15	4	1	27

出典：「昭和63年7月豪雨災害の記録」

河川の水位状況 (県管理河川)

河川名	観測所	日	時	最高水位(m)	警戒水位(m)
赤川	神田橋	13	8	2.00	1.82
赤川	町上	13	11	2.50	3.06
赤川	八口橋	13	11	1.70	2.73
潮川	善興寺橋	13	12	1.90	2.20
静間川	川合橋	15	10	1.10	1.90
静間川	法尺橋	15	10	2.50	2.10
三瓶川	神田橋	15	10	1.50	2.30
八戸川	市木	15	8	1.50	1.10
八戸川	川戸	15	8	4.60	4.20
八戸川	江尾	15	9	3.90	2.50
浜田川	浜田大橋	15	7	2.90	1.60
都治川	下都治橋	15	不明	不明	2.30
敬川	敬川橋	15	不明	不明	3.00
下府川	土穴橋	15	不明	不明	2.50
周布川	周布大橋	15	不明	2.10	2.70
三隅川	三隅	21	1	4.55	3.00
益田川	梁羽	21	4	2.81	1.70
匹見川	昭和橋	21	2	4.50	3.00
白上川	落合橋	21	1	2.70	3.00
八尾川	八郎橋	14	13	3.60	2.00
豊栖川	五箇大橋	14	13	1.70	1.70
都方川	西新橋	14	13	1.60	1.50
美田川	美田	14	13	1.37	1.30

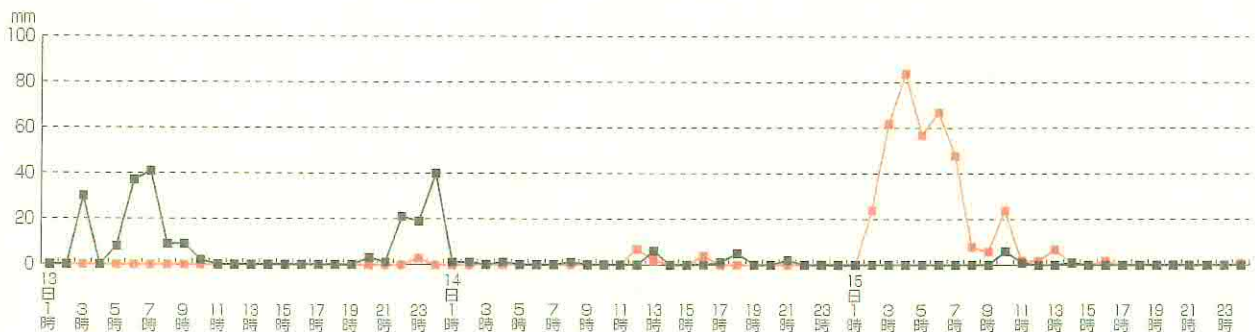
出典：「昭和63年7月豪雨災害の記録」

河川の水位状況 (建設省管理河川)

河川名	観測所	日	時	最高水位(m)	警戒水位(m)
江の川	尾間山	15	14	6.29	8.00
江の川	都賀	15	17	4.88	5.40
江の川	川本	15	19	5.65	6.00
江の川	谷住郷	15	20	7.71	7.70
江の川	川平	15	21	7.44	8.40
高津川	高角	21	7	3.23	3.10
斐伊川	源光寺橋	24	2:50	3.09	3.50

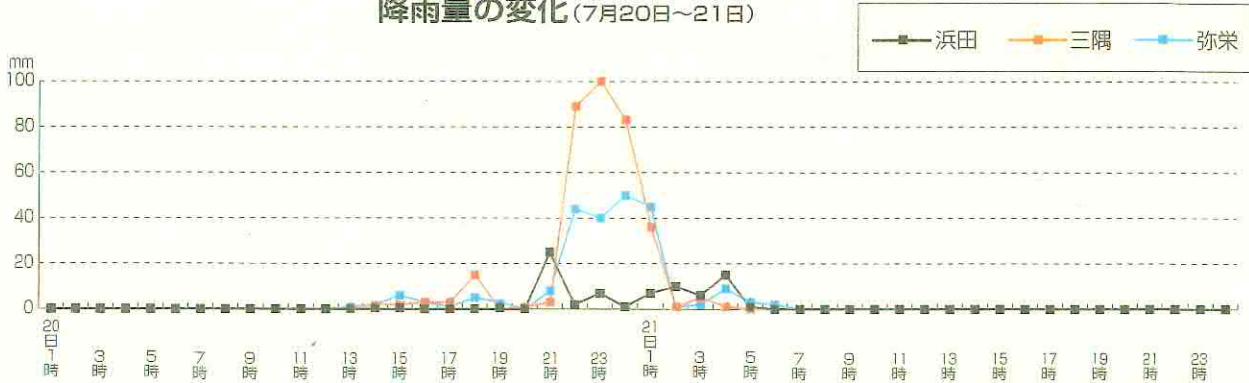
出典：「昭和63年7月豪雨災害の記録」

降雨量の変化 (7月13日~15日)



出典：「昭和63年7月豪雨災害の記録」

降雨量の変化(7月20日~21日)



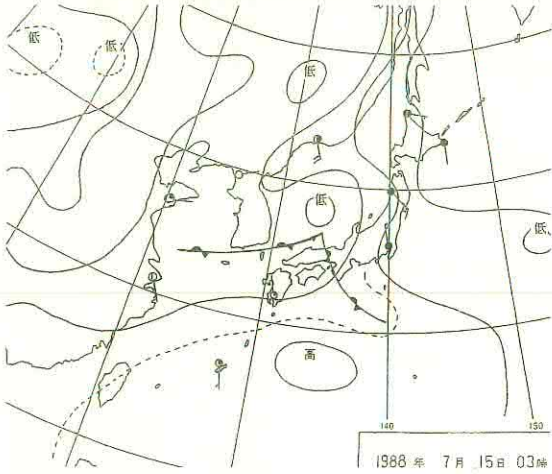
出典：「昭和63年7月豪雨災害の記録」

気象官署極値表(昭和63年7月)

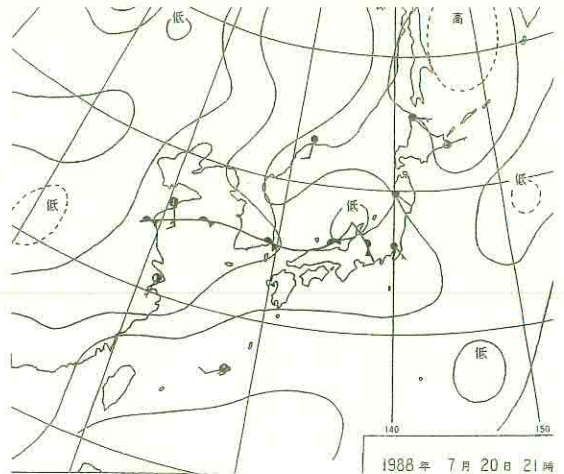
	松江地方気象台		浜田測候所		西郷測候所		
	観測値	起時	観測値	起時	観測値	起時	
風	最大風速	WSW 8.7m/s	14日12時10分	WSW 8.3m/s	15日13時10分	SE 6.4m/s	14日11時50分
	最大瞬間風速	WSW 16.5m/s	14日12時02分	SW 13.3m/s	15日13時01分	WSW 13.3m/s	14日23時04分
雨	総降水量	247.0mm	13日02時00分から 15日24時00分まで	399.0mm	15日01時04分から 16日10時20分まで	213.5mm	13日20時05分から 15日17時00分まで
	日降水量の最大値	220.0mm	13日	394.5mm	15日	203.5mm	14日
	1時間降水量の最大値	48.5mm	13日06時40分まで	90.0mm	15日04時30分まで	43.0mm	14日12時40分まで
	10分間降水量の最大値	24.5mm	13日23時50分まで	22.5mm	15日04時00分まで	14.0mm	14日08時50分まで

出典：「昭和63年7月豪雨災害の記録」

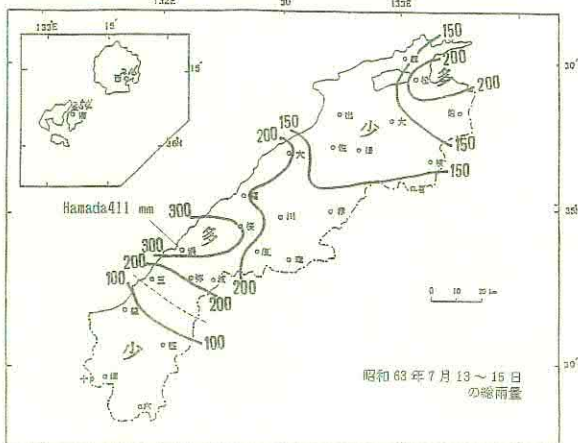
地上天気図(昭和63年7月15日3時)



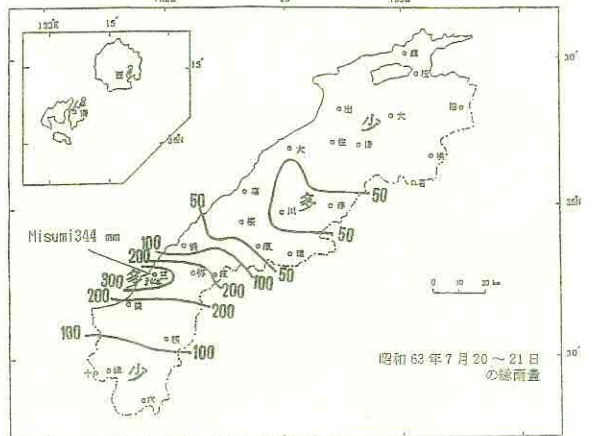
地上天気図(昭和63年7月20日21時)



雨量分布図(昭和63年7月13日0時~15日24時)



雨量分布図(昭和63年7月20日0時~21日24時)



(2) 被害状況

7月13日から降り始めた雨は、15日未明から早朝にかけて、県西部を中心に多いところで日雨量350mmを超え、特に浜田市では、時間雨量84mm、連続雨量390mmに達する局地的な豪雨となった。このため、江の川水系下府川、浜田川水系今井迫川等の中小河川の増水による氾濫のため、多くの家屋が床上・床下浸水した。また、山崩れ、がけ崩れが続発し、これによる家屋の倒壊が相次ぎ、死傷者がでた。

7月20日夜半から21日未明にかけて、再度県西部を中心に豪雨となった。三隅町では、浜田測

候所開設以来の時間雨量100mmを記録するなど、局地的・短時間集中豪雨となった。

このように、2度にわたる豪雨により、JR山陰本線、国道9号などの交通網の不通箇所が相次ぐなど、被災地では地域生活もマヒ状態となった。

この災害による総被害額は約980億円にのぼった。その内訳としては、土木関係被害が最も大きく、約461億円と全体の46.74%を占め、次いで、商工業関係被害が約291億円で29.51%、さらに、農林水産関係被害が約216億円で21.88%となっている。

■人的被害

人的被害は35名に達し、このうち死者・行方不明者は6名であり、特に被害が激甚であった浜田市で5名、三隅町で1名となっている。

今回の集中豪雨による降水量は、甚大な被害を受けた昭和58年（1983）災害に匹敵するものであった。しかし、58年災害や、その他過去の災

害の経験が活かされ、関係市町村が的確な防災対応をとったこと、中でも防災行政無線で迅速に避難命令を出したことや、住民の自主的な警戒・避難が行われたことなどにより、人的被害は最小限に食い止められた。

人的被害状況

	死 亡	死 亡 原 因		行方不明	重傷者	原 因 内 訳			軽傷者	計
		山崖崩れに巻き込まれた	川に転落流された			山崖崩れによる家屋倒壊	山崖崩れに巻き込まれた	転倒・転落した		
大田市	—	—	—	—	1	—	1	—	—	1
浜田市	2	1	1	3	7	2	2	3	20	32
旭市	—	—	—	—	1	—	—	1	—	1
三隅町	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
計	2	1	1	4	9	2	3	4	20	35

出典：「昭和63年7月豪雨災害の記録」

総被害額

項 目	内 訳	被害額 (千円)	比率 (%)
土 木 関 係	河 川	28,141,475	
	道 路	15,208,695	
	橋 梁	877,213	
	砂 防	1,716,007	
	公 園 ・ 都 市 施 設 等	172,282	
	港 湾	20,213	
	小 計	46,135,885	46.74
商 工 業 関 係		29,139,448	29.51
農 林 水 産 関 係	農作物等 (畜産関係含)	839,903	
	農地農業用施設	11,315,000	
	林道・治山	8,956,826	
	林産物・林産施設	360,477	
	漁港施設	86,607	
	水産物・水産施設	36,488	
	小 計	21,595,301	21.88
福 祉 医 療 関 係	社 会 福 祉 施 設	10,940	
	医 療 施 設	2,900	
	環 境 衛 生 施 設	104,299	
	小 計	118,139	0.12
交 通 及 び 通 信 関 係	鉄 道	727,903	
	通 信 施 設	287,000	
	小 計	1,014,903	1.03
電 気 水 道 及 び ガ ス 施 設	電 力 施 設	374,000	
	水 道 施 設	48,638	
	ガ ス 施 設	6,150	
	小 計	428,788	0.44
文 教 施 設 関 係	公 立 学 校	90,686	
	私 立 学 校	2,330	
	社会教育・体育施設・文化財	1,015	
	小 計	94,031	0.09
自然公園及び自然歩道施設		20,241	0.02
公 営 住 宅 関 係	県 営 住 宅	20,926	
	市 町 村 営 住 宅	760	
	小 計	21,686	0.02
警 察 施 設 関 係		7,541	0.01
そ の 他 公 用 及 び 公 共 施 設 関 係		141,059	0.14
合 計		98,717,022	100.00

出典：「昭和63年7月豪雨災害の記録」



各所で山腹崩壊が発生



土石流に襲われた相生町（浜田市）



裏山の崩壊により全壊した家屋（浜田市）



堤防決壊に加えて土石流が発生（浜田市）

■土木関係被害

7月13日から7月23日にかけて、県西部を中心に局地的な集中豪雨に襲われた。これによって、中小河川が氾濫し、堤防・道路・橋梁等の決壊や

流失が相次ぎ、被害額も昭和58年（1983）災害に次ぐものとなった。

土木関係被害概況

区 分	国 関 係		県 関 係		市 町 村 関 係		計	
	箇所数	被害額 (千円)	箇所数	被害額 (千円)	箇所数	被害額 (千円)	箇所数	被害額 (千円)
河 川	18	1,340,510	1,229	18,000,738	1,326	8,800,227	2,573	28,141,475
道 路	14	132,924	931	5,903,687	3,194	9,172,084	4,139	15,208,695
橋 梁	—	—	4	223,095	42	654,118	46	877,213
砂 防	—	—	84	1,716,007	—	—	84	1,716,007
公園、都市施設等	—	—	2	40,207	15	132,075	17	172,282
港 湾、空 港	—	—	3	20,213	—	—	3	20,213
計	32	1,473,434	2,253	25,903,947	4,577	18,758,504	6,862	46,135,885

出典：「昭和63年7月豪雨災害の記録」



土砂により破損した道路と家屋（浜田市）



全壊した家屋（浜田市）

土砂災害による被害状況

上段：土石流 中段：地すべり 下段：急傾斜地

市町村名	箇所数		人的被害								住宅被害								
			死者		行方不明		負傷者		合計		全壊		半壊		一部破損		合計		
		計		計		計		計		計		計		計		計		計	
島根町	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
三刀屋町	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
大田市	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
邑智町	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
桜江町	2	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
浜田市	9	53	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—
	3		—	1	—	3	2	12	2	16	4	22	2	17	6	35	12	74	
	41		1	—	3	10	—	—	14	—	18	—	11	—	24	—	53	—	
江津市	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1
金城町	7	26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	19	—	23
	19		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	16	—	19	—	
三隅町	5	14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	4	—	19
	9		—	—	—	—	—	—	—	—	4	4	3	5	—	10	—	15	
益田市	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1
美都町	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
匹見町	6	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
西郷町	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
海士町	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1
知夫村	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
仁摩町	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	30	118	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4		—	1	—	3	2	12	2	16	1	27	6	26	11	71	18	124	
	84		1	—	3	10	—	—	14	—	22	—	18	—	54	—	94	—	

出典：「昭和63年7月豪雨災害の記録」

■災害救助の状況

7月13日6時40分、県東部に大雨洪水警報が発令され、県は災害に対する警戒体制をとった。7月15日未明浜田市を中心とする県西部に局地的な豪雨があり、災害発生の恐れが生じたため、県は早朝から関係職員を非常招集し情報収集に努めた。

15日未明から被害状況の把握と共に、万一の

場合に備え、救助の実施について準備を進めていたが、同日午後、浜田市における被害が災害救助法に定める基準に達したことから、同日14時浜田市について災害救助法による救助を実施することを決定した。

災害救助法による救助の実施状況

救助実施項目	法適用期間	実施内容
避難所の設置	7.15~7.28	収容人員 延4,877人
炊き出しその他による食品の給与	7.15~7.28	給食数 延17,161食
飲料水の供給	7.15~7.21	給水人員 延17,100人
被服寝具その他生活必需品の給与又は貸与	7.15~7.24	給与又は貸与世帯数 468世帯
医療	7.15~7.28	救護班による医療、患者数 82人
災害にかかった者の救出	7.15~7.17	救助人員 16人
死体の捜索	7.18~8. 3	行方不明者 3人
障害物の除去	7.15~8. 3	除去世帯数 1世帯
応急仮設住宅の供与	7.15~8. 3	設置戸数 2戸
学用品の給与	7.15~8.14	給与人員 小学生 194人 中学生 118人

出典：「昭和63年7月豪雨災害の記録」



行方不明者の捜索を行う県警職員（浜田市）



災害で壊れた橋の上に立つ衆議院の視察団（浜田市）



現地を視察する澄田知事（浜田市）



被災地での対策会議（江津市）